

多摩川流域自治体による広域連携の取組 ～多摩地域の更なる発展に向けた共通基礎データの構築～



八王子市 日本遺産「霊気満山 高尾山」



府中市「ラグビーのまち府中」



調布市 深大寺 国宝指定「白鳳仏」



町田市「南町田グランベリーパーク」



日野市「ひの新選組まつり」



狛江市「巨大絵手紙」



多摩市「ハローキティストリート・しまじろう広場」



稲城市「MECHANICAL CITY INAGI」

令和3年2月

多摩川流域連携自治体

八王子市・府中市・調布市・町田市
日野市・狛江市・多摩市・稲城市

1 多摩川流域連携会議の取組

多摩川流域連携会議は、悠久の流れを湛える多摩川に沿って四季折々の自然を共有する多摩地域の自治体が、そのつながりを生かし、多摩川をテーマとした連携を企画・展開することを目的に平成25年から開催しています。

主な取組として、各市の共通課題研究のみならず、各市政策担当若手職員相互の人事交流・人材育成も目的として共通する行政課題や広域的な課題などについて、情報共有・意見交換を行っています。



●多摩川流域自治体によるこれまでの広域連携の主な取組

- ・多摩川流域自治体イベントラリーの開催
- ・多摩川流域郷土芸能フェスティバルの開催
- ・狛江市の古代カップいかだレースへの参加
- ・災害時における無人航空機（ドローン）を活用した支援活動等に関する協定
- ・インバウンド観光推進に関するパートナーシップ協定(「Guidoor(ガイドア)」) など

<多摩川流域連携会議趣旨>

多摩川流域自治体の各市とは、これまでも様々な場面で必要に応じて意見交換を実施してきました。悠久の流れを湛える多摩川に沿って四季折々の自然を共有する多摩川流域の自治体が、そのつながりを生かし、多摩川をテーマとした連携を企画・展開していきたいという趣旨を各市長に呼びかけましたところ、御賛同をいただき、このような機会を設けることができました。

この連携会議は、各市とも若手職員に出席していただき、貴重な資源である多摩川をテーマとした様々な連携策について、市の領域を越えて発想豊かな、遊び心もあるプロジェクトができればいいと期待しています。そして、この会議などを通じて、各市が固有の課題に向き合うだけでなく、広域的な視野で、課題を捉え、連携して、多摩の魅力向上に努めていただければと思っています。

平成25年5月10日 第1回多摩川流域連携会議 調布市長友市長挨拶要旨)

多摩の概要 (参考)

■多摩地域とは

- 明治26(1893)年に、西多摩・南多摩・北多摩の三郡が神奈川県から東京府に移管
- 多摩地域は、東京都のうち、東京23区(旧東京市)と島しょ部(伊豆諸島・小笠原諸島)を除いた市町村部(26市・3町・1村)で構成
- 昭和30年代から40年代の高度経済成長期に、鉄道の沿線に沿って爆発的な人口増加と急速な都市化が進み、多摩地域の人口は、昭和30年の100万人から、昭和50年には300万人へと急増
- 令和3年現在の多摩地域の人口は、東京都全体の人口の3割、約420万人を擁し、面積約1,159 km²は東京都(約2,193 km²)の約半分に相当
- 東京という地でありながら、多摩地域は豊かな自然と都市の利便性がバランスよく融合。西部では奥多摩に代表される豊かな自然環境、東部では教育・娯楽・文化・産業を揃えた都市環境に加え、東京都心部からのアクセスも良好



<多摩の魅力発信プロジェクトHP>

2 広域連携による多摩地域の更なる発展に向けた取組

■ 取組の目的

国の総人口は既に減少局面に入っており、東京都の総人口も2025年をピークに減少し、今後は本格的な人口減少時代を迎えます。人口減少の急速な進行は、生産力の低下や都市の活力に大きな影響を与え、多摩地域においても重要な課題の一つとなっています。

こうした課題に対応していくため、多摩川流域自治体の各市が取り組んでいる種々の施策をこれまで以上に連携・協調し、広域的な視点で取り組んでいく必要があります。多摩地域の自治体が連帯して広域的に協力して取り組むことで、それぞれの自治体がメリットを享受し、ひいては多摩地域全体の発展に寄与することが期待できます。

多摩川流域自治体において、これまで観光分野や防災分野など、広域連携による取組を検討・実践してきた中で一層の連携機運の高まりや、ウィズコロナにおける社会変化を踏まえ、多摩川流域自治体の8市が連携して各市ホームページにて、地域資源（特色・観光）の発信に取り組むとともに、各自治体の共通基礎情報として、人口・面積・財政のほか、産業関連情報や企業へのサポートなど、まちの活力を高める地域振興につながる情報発信を通じて、地域の活性化、ひいては多摩地域全体の連帯と発展につながるよう、自治体間連携を推進します。

■ 市域を越えた広域連携による共通基礎データの発信

これまで単独自治体で実施してきたまちの魅力発信について、広域的に連携して、各市が相互にまちの魅力のPRや、地域振興に関する情報発信を行うことで、様々な相乗効果を生み出すことが期待できます。

各市がそれぞれのホームページにおいて、共通基礎情報コンテンツ「多摩川流域自治体による広域連携の取組～多摩地域の更なる発展に向けて～」を公開し、多摩地域全体の連帯と発展に寄与する取組を進めます。

項目	八王子市	府中市	調布市	町田市	日野市	狛江市	多摩市	稲城市	市域全体
人口 (注)総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」(2019年1月)	56万2460人	26万11人	23万5169人	42万8685人	18万5393人	8万2481人	14万8745人	9万0585人	199万3539人
面積	186.38km ²	29.43km ²	21.58km ²	71.55km ²	27.55km ²	6.39km ²	21.01km ²	17.97km ²	381.86km ²
労働力人口 (注)総務省統計局「国勢調査」	25万9121人	12万8317人	11万1962人	18万4842人	8万3763人	3万7688人	6万4761人	4万2237人	91万2691人
人口増減率(3年前比) (注)総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」	0.06%	1.27%	3.87%	0.41%	.44%	3.09%	0.61%	3.57%	-
GDP (注)環境省「地域経済連関表」	2兆1297億円	1兆4631億円	8351億円	1兆2381億円	1兆2370億円	1990億円	6229億円	2519億円	7兆9771億円

■ その他の地域資源(市域を越えた広域連携による魅力発信)

日野市 府中市 調布市 狛江市
八王子市 多摩市 稲城市 町田市